2021 年度　活用論文・実践記録の原稿募集のご案内

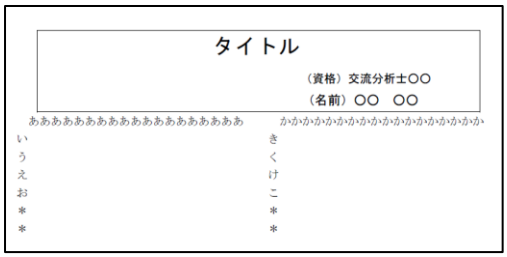
日本交流分析協会関西支部　支部長　小原豊子
論文支援委員会　委員長　山本昭一

関西支部は、昨年まで「活用論文・実践記録集」を 22 巻発行しました。今まで投稿された方々はのべ 184 名となり、皆さん関西支部や全国で活躍されています。また、「TA 実践研究」に掲載される方が続いています。さらに、教授・准教授資格を取得される方も出ています。

その輝かしい伝統を継承しつつ今年度から、投稿論文をホームページから取得できる形式に変更しました。

参考：http://takan31.com/cmsdir/wp-content/uploads/2020/09/ronbun2-1.pdf

論文作成は「実践記録」から始まります。実践記録は、交流分析を活用している自分史です。活用論文・実践記録集は、実践記録をまとめて形にした貴重な資料です。**交流分析をより深く理解し、実践していこうという皆さんの投稿を、今年もお待ちしています。**



論文を投稿してみようと考えておられる方は、Ａ４のテンプレート（タイトル部分と本文２段組　下図参照）を活用してください。（メールで申し込んでいただいた方には、添付ファイルでそのまま書き込めば良いものを送ります）

また、上位資格（教授・准教授）の取得を目指しておられる方は、下記の□に「✓」をご記入ください。論文支援委員会が応援させていただきます。どうぞ、お気軽にご相談ください。

記

募集対象　関西支部会員（資格は問いません）
※交流分析を活用している経験を、実践記録・活用論文にまとめてみようという会員

投稿締切日　随時受付けます。22 年度支部大会では、2022 年３月末投稿分を紹介します。

投稿の範囲　交流分析（周辺理論の心理学等も含みます）の活用、実践及び研究

投稿文字数　Ａ４サイズ 1～8 ページ（Word 原稿を事務局にメールでお送りください）

テーマ提出　投稿を考えておられる方は、仮テーマと氏名を事務局にお知らせください。

※申込者には、ﾃﾝﾌﾟﾚｰﾄ（文字見出しゴチック 11p 本文明朝 10.5p 英数字 Century）を送ります。
※個人情報の扱いやレイアウトの変更を、投稿者に確認の上で行なうことがあります。
※投稿された原稿は、他に投稿することを制限しません。『TA 実践研究』に投稿しても OK です。

投稿予定（ 関西支部事務局　FAX.06-6375-1002　または　メール：info@takan31.com ）

お名前		連絡	（　　）
メール	@	会員資格	
仮テーマ			□ 上位資格取得希望

※いただいた個人情報は、活用論文・実践記録集の連絡以外には使用いたしません。